

## 20 . 魚道における鳥対策の例

魚道における鳥類の捕食回避として考えられる事項を整理すると以下となり、水深の確保、水際植生等鳥からの隠れ場所の形成、日陰ブロック、ネット等の対策が考えられている。

### 最新魚道の設計

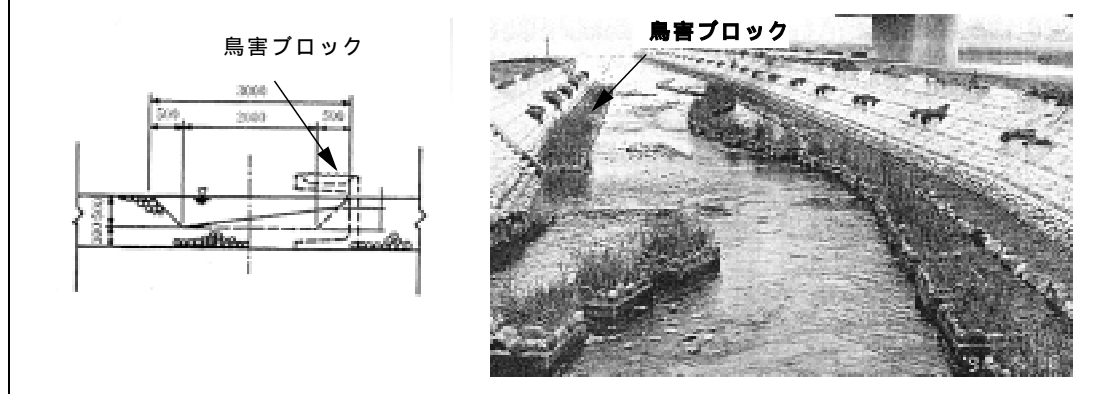
水路タイプ魚道は、長く浅いものとなることも多く、このような場合には水温の上昇や鳥害対策などにも配慮する必要がある。これらに対しては、水路脇の植栽や日陰ブロックの配置、鳥害防止ネットなどの対策が考えられる。

### 捕食減耗抑制(応用生態工学 3(2),2000 取水堰付設魚道の実験的検討)

水深増大によって水鳥による捕食減耗や浮きゴミによる魚道内閉塞を抑える効果も見込める。

### 鳥害対策 (長良川河口堰・せせらぎ魚道)

鳥害ブロックを水際部から水面上に配置。



### 鳥対策(魚道の設計 p330)

飛びはね遡上する魚類を狙って多くの鳥が魚道周辺に集まっているのがみかけられる。これらの鳥対策として最も容易に対策できるのが網であると考えられ。採用された例として星山ダム(宮崎県・発電ダム)の網の設置による鳥対策がある。

